

防災意識向上プロジェクト講演会

令和7年2月22日 逗子市役所5F会議室
茨城県日立市久慈学区コミュニティ 会長 石川善憲

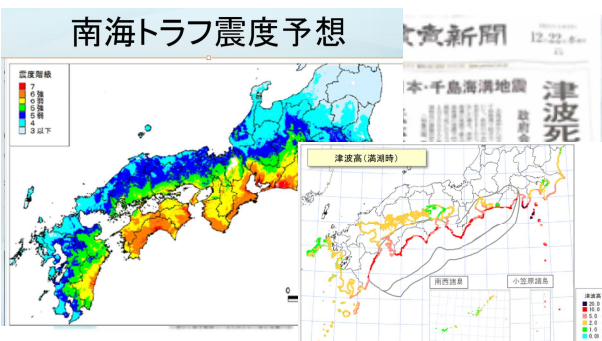


日立市久慈町 津波の映像

久慈サンピア日立付近で撮られた津波のビデオです。緊迫した防災無線の声と、津波の流れの激しさが分かります。



この写真は2、3日後の避難所の様子です。11日は満員で座る場所がない状態でした。体育館に入れない人は駐車場に止めた車の中にいました。



令和3年12月に発表された津波の予想です。東日本大震災を上回る被害予報が出されました。前回の経験を活かしながら次への備えを考える必要性を感じます。



東日本大震災の避難所からの報告

日立市立久慈中学校

日立港での大規模車両火災

移動できるように整然と止められた車。情報が入ってこなかったので日立港での車両火災の煙と、PAZ（5km圏内）の東海村の原発が不安感を高めていました。



プールがないので生活用水の確保

傘立てまで、ありとあらゆる容器に水をくみ

防災無線から、断水になるという情報が告げられましたので、水を確保するために教職員、生徒と一緒に1階にある調理室で水をくみました。たらい、鍋、バケツ、ボール類、傘立てなどにまで水をくみ体育館のステージに運び込みました。学校にはプールがなかったので水をくんでおいたことが役に立ちました。



対策本部となったテント

停電になっていることから、明るさが残っているうちにテントを組み立てるように生徒に指示しました。この時点でも、出来ることを手伝おうという気持ちで進んで動く生徒が多くいました。



ボランティアとして働く生徒たちの明るい笑顔が、被災した多くの人に希望を与えたようです。



明神町 石川佳大(小6)
あの日、学校の帰りの会の時に、大地震が起こりました。グラウンドに避難し、その後大津波警報が流れて、町をながめてみたら、ところどころから水があふれ出し、このままでは家が流されてしまうのかな、と思いました。先生たちと中学校へ避難し、そのままだ中学校にいたかったけど、まだ赤ちゃんの弟がいたので親せきの家に行きました。
次の朝、家を見に行くと、中はじろまみれで庭には海が流れてきたものがたくさんあってそのうえ床下には魚もいくつくりしてました。近所では片付けが始まっていたので、ぼくの家のまわりのところから始めて、毎日毎日そうじをしました。ぼくも手伝いをして、しばらくは三階で生活しました。その間たくさんの人に手伝ってもらったりして、本当にうれしかったです。
今回の経験で、多くのことを学びました。その中でも協力することの大切さを感じ、今後生かしたいと思います。

明神町 山形香南子(中2)
「オー」死ぬかと思った。棚の中の物は全て落ち、廊下の天井の一部が抜け、もう何もかもめっちゃくちゃだった。私は、何が起きるのかわからないまま、先生の言うとおりに避難した。三月十一日、日本という世界までもが変わったあの日。東日本大震災。最大震度七を観測した直後に起こった大津波。さらに、悲劇は収まらず、原子力発電所の爆発。私の学校「久慈中学校」では、体育館が避難所となった。地震が発生したその日の夜は、千三百人が体育館で避難していた。その体育館で私は、色々なことを学んだ。一つの物を数人で分け合ったりと、助け合う事の大切さや色々な事や物に対する感謝の気持ちなど、当たり前な事だとして、考え直す事ができた。この大震災で学んだ事をこれから生活に役立てて日々、色々な事に感謝していきたい。

新宿町 額賀司(高1)
中学卒業式の翌々日。十四時四十六分目の前の物全部が落ちて、余震が続く中、家族とも連絡が取れず中学校に避難。駐車場としてグラウンドはすぐに満車。多くの人が助けを求めた。切迫した状況の中、夜には地域の方々の協力もあり停電の体育館に照明が灯され、持ち込まれたストロブで暗がりが取れ、改めて大震災の底力を感じることができました。外にも避難者やボランティアの方々が多数居られ、共に見た綺麗な星空が震災の恐怖を和らげてくれたことを覚えています。館内を見回すと床が見えないほどの人。翌朝から在校生や先生方それに先方、安否確認に付き出し、簡易トイレの穴掘りなどをしました。若い力で協力した甲斐もあり、約一カ月後避難所から皆様の帰宅を無事見送れたこと、避難されていた方々より感謝の言葉をいただいたこと、これらの経験を胸に今後も復興のための一助になろうと改めて思います。

新宿町 小針千穂(高2)
三月十一日、東日本大震災。不自由な体育館での避難生活の中で今の自分には何が出来るだろう。というのを誰かが考えたと思います。積極的に手伝いをしたり、ありがたう。とさくらんとお礼を言ったり、小さなことの積み重ねや助け合いで、先も見えない不安な日々を乗り越えることが出来ました。そして、人と人とのつながりを強く感じました。忘れたくないこととしたいと思います。避難生活最後の日に、これからは君たちが引継いで行くんだ。その時のために、今は私たちが頑張るからね。とおっしゃった方がいました。今、こうして自分がいること、久慈浜が元の姿に戻りつつあること、久慈浜に元々の支えがあったこと。その方たちに感謝をし、そして今度は私たちがその方たちの力となるように、今出来ることを精一杯やっています。

13日から給水が始まり、蛇の列が出来ました。生徒が並んでいる人の間を歩き、コップに入った水を配ったり、本部テントに給水所を設けて飲めるようにしていました。
給水所には赤ちゃんのミルク用にお湯も用意されていました。



大人も中高生も一緒に調理
自衛隊にも協力しました。

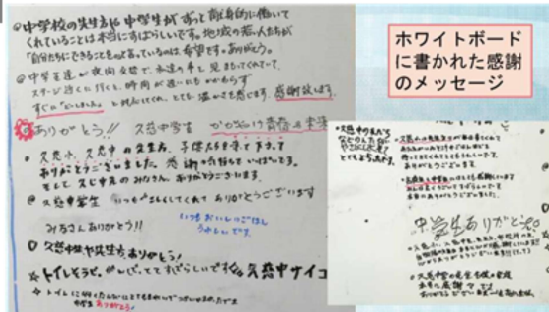


給水で並ぶ人に飲み水を配りました。
ミルク用のお湯も準備しました。

調理をする地域の人に交じって中学生も手伝いに加わりました。1000人にも及ぶ避難者に対して行うため、大量の食材を切ったり、調理したものを配ったり片付けをしたりする場面がたくさんの中学生在進んで参加し活動しました。夜になって自衛隊の炊き出しが来たときにも中学生が協力して進められました。



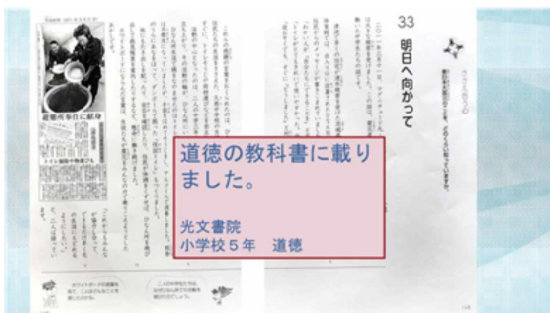
本や紙おむつ等も準備しました。
会話を楽しむ姿もありました。



ホワイトボード
に書かれた感謝
のメッセージ

避難所には小学校、中学校の図書室から本が持ち込まれミニ図書館が作られました。中学生が小学生や幼児と遊んでいる姿や、本を読んでやる姿が見られました。食べ物配りする時に中学生と声を交わすのを喜ぶお年寄りもあり、大きな被害を受けて避難していても、明るい雰囲気が出ていました。

避難所である体育館の入り口に置かれたホワイトボードにはたくさんの感謝の言葉が残されていました。



道徳の教科書に載りました。

光文書院
小学校5年 道徳

久慈中は、「黒潮太鼓」「久慈中ソーラン」が伝統として引き継がれており、祭りや町や市の行事に参加する機会が多いです。太鼓を運ぶのに人数が必要ですので、行事には教職員も多数参加しています。このようなことから、教職員、生徒と地域の人とは密接な関わりをもつようになっています。大震災時に地域の人に交じって教師や生徒が動けたのは、普段からのこのような関わりが生きていたことによります。

暗くなり気温が下がってきた時点で、対策本部で、毛布が少ないので何とかしなければという話し合いが行われました。学校のリヤカーを使い近所に借りに行こうということになりました。地震で混乱しており行っても無駄ではないかという意見もありましたが、とにかくやってみようということで実施しますと、2台のリヤカーにいっぱいの毛布が集まりました。返せないということを納得して提出してもらったものでした。



ストーブが点いて安心しました。



近所の家から提供し
てもらった毛布

町内の建設業の方が発電設備を用意し、体育館内に2カ所テントに1つ電気が付くように工事をしてくれました。また、校内の石油をかき集めて大型のストーブをつけて暖をとりました。余震は続いていましたが、ストーブがたかれ、避難所に明るい照明が灯ったことで安堵感が出てきました。



集まった食材と調理風景、後方は給水に並ぶ人

学区内にあるスーパーや大型の店舗から本部のあるテントに食材が大量に届けられました。停電のため冷蔵庫の商品が保存できないので避難所で利用してほしいということでした。



大釜と調理風景
大人に交じって中高生
の姿が見られます。

食材が大量に届けられたので炊き出しをやるということになり、鮮魚店で保有しているタコをゆでるのに使う大釜が運び込まれました。調理室から調理用品を運び出し、地域の人たちが中心となり調理が始まりました。生徒も作業する人を取り囲んで運搬などの手伝いを始めました。出来上がった豚汁を避難者に配る場面では中学生が大活躍をしました



模造紙の伝言板

学校に、全国から安否問い合わせの電話が殺到していることもあり、対応のため3人ほど職員室にも詰めていました。避難所である体育館とは無線機でつながるようにしました。職員室、教職員と一部の生徒のリーダー、テントの対策本部が8台のハンディ無線で結ばれることになりました。高校生と中学生がステージに陣取り、問い合わせ電話の内容を電池で作動する拡声器を通して体育館に放送するようになりました。「問い合わせです。○丁目の○○さん、いましたらステージまで来てください」というような放送が続けられました。同時に、問い合わせの内容を中学生が体育館の壁に貼った模造紙に書き込んで伝言板にしていきました。



あまりにも多い人が使うので使用不能のところが出てきました。養護教諭と高校生、中学生がトイレの清掃を行いました。